

 シラバス参照／授業情報参照

授業情報／Course information

[戻る](#)
●授業基本情報

科目名／Course title	人類共同体のための国際環境政策学／International Environmental Policies for the Human Community		
担当教員／Instructor	宮田 春夫		
対象学年／Eligible grade	1 , 2 , 3 , 4 , 5 , 6	開講番号／Registration Code	180G3734
講義室／Classroom	総合教育研究棟B356	開講学期／Semester	2018年度／Academic Year 第3,4ターム／the third and fourth term
曜日・時限／Class period	水/Wed 5限	単位数／Credits	2
授業形態／Type of class	講義	科目区分／Category	新潟大学個性化科目 自由主題／Niigata University Original Subjects Other Themes
副専攻／Minor	副専攻「平和学」,副専攻「国際教養」	定員／Capacity	60
分野／Academic Field	75：新潟大学個性化科目 35：政治学	水準／Academic Standard	04：全学学生受入可・専門中核水準
抽選方式	手動		

●授業概要情報

更新日／Date of renewal	2017/12/27
対象学部等／Eligible Faculty	全学部
聴講指定等／Designated Students	格別の指定はしません。但し、国際協力論、政策論または環境保全論について強い関心がある学生やそのような基礎のある学生のための講義です。 副専攻「平和学」指定科目。履修希望者が合理的な数を超える場合は、副専攻「平和学」修得希望者を優先します。
科目の概要／Course Outline	(a)国際関係論から見た国際協力政策の背景、(b)環境政策の歴史における国際協力政策、(c)国際協力政策に大きな影響を及ぼした概念・提言・会議等、(d)国際協力の主要課題等について論じます。 なお、国際関係論・国際政治から見た国際環境政策を論じるものであり、環境問題そのものを直接論じるものではありません。
科目的ねらい／Course Objectives	「地球」環境問題とよく言いますが、我々が実際に認識しているのは「人類」環境問題です。このことは、従来の「国民の健康で文化的な生活の確保に寄与する」ことに加えて、「人類の福祉に貢献する」ことも、1993年の環境基本法の上位目的として規定されたことに明確に反映されています。この「人類の福祉に貢献する」という意識こそは、現象が地球的に広がっている訳ではない「開発途上国の環境問題」までをも、(広義の)「地球環境問題」というくくりに入れている理由です。そのような事実認識に基づき、(a)国際社会と日本、(b)歴史と現在という枠組の中で現在の政策と課題を理解します。特に、どうして国際的に協力・協調しなければならないのか、どういう視点で協力・協調すべきかについての理解を促すのが、この授業の特長です。
学習の到達目標／Specific Learning Objectives	まず、(a)国際関係論から見た国際協力政策の背景、即ち、どうして国際的に協力・協調する必要があるのかについて理解すること。それに基づいて、(b)国際社会と日本、(c)歴史と現在という枠組の中で現在の政策と課題を理解し、更に、(d)今後の政策や市民としての対応について、人類共同体の一員として考えられるようになることを目標とします。
登録のための条件(注意)／Prerequisites	国際関係等の現実についての関心と理解、国際関係論や政策論等の視点を必要とする応用・展開科目です。国際関係論・国際政治から見た国際環境政策を論じるものであり、環境問題そのものを直接論じるものではありません。 教科書が市場で売り切れてしまったため、教員の手元に残っている32部を割引価格で販売します。そのため、2018年度は、本来の定員にかかわらず、履修者数上限を32名とし、教員以外から教科書入手する学生はこの枠外とします。 教員の定年退職のため、この科目の開講は今年度が最後です。
学習方法・学習上の注意／Study Advice	授業内容に関心を持ち、自分で調べるなど努力する学生に単位を与えます。「出席点」はありません。但し、出席して話をよく聴いていないと単位のつくような結果は出ません。本を読まない学生、ペーパーを書くのにウェブサイトのコピーをする学生には単位は出しません。原典に当たることの重要性から、英語の資料もあるため、英語を全く読まない学生の履修は困難です。
成績評価の方法と基準／Grading Criteria	授業後のペーパーによって評価します。但し、履修者の多い場合は試験とします。多くの学生にとって日頃なじみのない内容の授業なので、その理解を優先します。即ち、ペーパーは、新たな作業を課すものではなく、教室で行う試験に代えて、学生の都合のよい時間に授業内容の理解を示してもらうものです。そのため、授業の論点の理解に75点、論考等の独自性に15点、作成のための文献・資料調べ(または予習・復習)等の努力に10点。但し、全学生のでき具合によっては配分を調整します。授業中の意見、質問等による授業への貢献も評価します。但し、質問、発言等のしにくい大人数の授業の場合は、これは必須ではありません(少人数授業では必須。)。ペーパーと授業への貢献とによって評価する場合、それらの比重は、およそ75:25とします。
使用テキスト／Textbooks	宮田春夫『人類共同体のための国際環境政策』(ブイツーソリューション発行・星雲社発売,2011年10月。ISBN 4434160265。355ページ。本体価格3,000円。資料の一部は英語です。 教員の手元に残っている32部を割引で販売の予定です。市場ではほぼ売り切れたため、限られた部数及び高

	<p>騰している価格の両面から、市場での入手は楽観できません。</p> <p>関連リンク /URL of syllabus or other information</p> <p>担当教員の2018年度授業ウェブサイト 日本の現行法令テキスト(総務省法令データ提供システム) 環境省 Global Footprint Network</p>
	<p><主要参考図書></p> <p>地球環境研究会『地球環境キーワード事典』第5版(中央法規、2008年、1,500円); 磯崎博司『国際環境法』(信山社、2000年、2,900円); 米本昌平『地球環境問題とは何か』(岩波新書、1994年、780円); 鶩見一夫『ODA:援助の現実』(岩波新書、1989年、780円); 和田喜彦訳『エコロジカル・フットプリント—地球環境持続のための実践プランニング・ツール』(合同出版、2004年、2,200円)(原著: Mathis Wackernagel and Williams E. Rees, 1995 "Our Ecological Footprint : Reducing Human Impact on the Earth")</p> <p><推薦図書></p> <p>"Human Development Report 2009" (United Nations Development Programme, 2009. http://hdr.undp.org/から無料ダウンロード可。2010年版以降のhuman development indexには問題あり。); 塚田幸三・宮田春夫訳『バイオリージョナリズムの挑戦—この星に生き続けるために』(群青社、2004年、2,000円)(原著: Pooran Desai and Sue Riddlestone: "Bioregional Solutions: For Living on One Planet") ; Pamela S. Chasek、David L. Downing、and Janet Welsh Brown "Global Environmental Politics", Seventh Edition (Westview, 2017, 著しく値上がりし、Amazon.co.jpで約6,00円、英国から直輸入で送料込み36ドル程度); World Commission on Environment and Development "Our Common Future" (Oxford University Press, 1987, Amazon.co.jpで約2,400円。英国から直輸入で送料込み約17ドル。1,000円未満から中古あり。); ; Independent Commission on International Development Issues "North-South: A Programme for Survival" (1980、いくつかの出版社から出ている。絶版。古本が多数出回っている。日本国内で送料込み1,700円余り。海外からは送料込み7ドル程度から。); Meadows, Donella H., Meadows, Dennis L., Randers, Jorgen, and Behrens S William W. III "The Limits to Growth" (1972、Universe Books。絶版。格安の古本が多数出回っていたが、2017年12月現在非常に高騰。他に、解説等を加えた現行版も数社から出ている。和訳『成長の限界』1972、ダイヤモンド社、1,728円); Robert O. Keohane and Joseph S. Nye "Power and Interdependence", 4th edition (2011, Longman. Amazon.co.jpで約5,500円。海外からは送料込み56ドル程度から。複合的相互依存の教科書。2012年に、1977年の初版以来初めての和訳『パワーと相互依存』がミネルヴァ書房から出たが、2001年の第3版のもの。5,184円); 横田匡紀『地球環境政策決定過程:環境のグローバリゼーションと主権国家の変容』(ミネルヴァ書房、2002年、3,200円)。 米本昌平『地球環境問題とは何か』、岩波新書、1994年、780円。 (以上の価格は2017年12月の本体価格です(但し、アマゾンは税込み、海外書店から輸入の場合は無税。)。amazonのほかに、abebooks.com(古本、新本を様々な販売元が出展)、bookdepository.com(新本。ヨーロッパからの航空便の送料込みで販売。)などもチェックしてみて下さい。)</p>
参考文献 /References	<p>国際関係論、複合的相互依存、持続可能な発展、sustainable development、地球環境問題、国際環境政策、人類共同体</p>
キーワード /Keywords	(平成13年度以前に入学した学生が履修した場合は教養科目の総合科目群で社会科学系となります。) 課題別副専攻「平和学」科目にも指定されています。 国際関係論に開発論を融合させた文系科目です。 教員の定年退職のため、この科目的開講は2018年度が最後です。
備考 /Remarks	

●授業計画詳細情報

内容 /Content	準備学習 /Preparing learning	備考 /Notes
<第1部 基礎的課題> 國際秩序をどう見るか: アナキーな社会、リアリズムと複合的相互依存、「持続可能な発展」とは何か、「地球環境問題」とは何か、エコロジカル・フットプリントと「人類の福祉」、環境政策の発展における国際協力政策		
<第2部 個別課題> 国連等を通じた多国間協力、地球的多国間条約、開発途上国、ODA、ODAや海外直接投資と環境破壊、二国間協力	本文を中心に教科書を簡単に読んでおいて下さい。授業では、図表や枠で囲ったテキストを使って論じて行きます。	
<第3部 国際環境政策のあり方> 国際環境政策のあり方		